

平成 28 年 7 月 13 日（水）に開催した平成 28 年度第 4 回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

1 議案

(1) 公立大学法人静岡文化芸術大学内部監査規程の一部改正及び実施要領の制定について

ア 趣旨

事務局から、平成 28 年度に内部監査を所管する監査室を設置するに伴い、内部監査実施体制の充実を図るため、当該規程の一部改正をすること、併せて内部監査の具体的な実施方法等を定める内部監査実施要領を制定することについて、その承認を求める。

イ 主な意見

内部監査にあたっては、特に経理部門に時間やコストなど負担がかかりすぎないように配慮することも必要である。理事長・学長のリーダーシップにより、問題が起きないような大学の風土づくり、健全な大学運営を引き続き期待する。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

(2) 非常勤講師の委嘱について

ア 趣旨

専任教員の退職による対応として、文化政策学科科目及び大学院特講科目について、非常勤講師 1 名を委嘱することについて、その承認を求める。

イ 主な意見

- ・専任教員の退職による非常勤講師の委嘱とのことだが、現在、大学の教員数は充実しているか。
- ・一般的な私立大学と比べると充実しているが、大学院開設時に教員の増員がなかったため、学部・大学院兼任教員にとっては負担が大きい状態となっており、長期的に改善していく必要がある。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

(3) 受託事業について

ア 趣旨

事務局から、静岡県教育委員会が行う「アカデミックチャレンジ事業」の一環として、高校生が本学において研究体験（講座）を行い、研究課題に対して主体的に取り組む姿勢や科学的に探究する能力の向上を目指す「チャレンジラボ」事業を受託すること、また、地域の企業が開発中である機器のプロダクトデザイン製作事業について受託することが説明された。

イ 主な意見

本学の活動は地元住民が注目しており、受託事業をはじめとする地元における各種の活動は、本学の信頼を高める良い機会となるため、積極的に取り組んでほしい。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

以上により議事を終了した。